

# 直方ミニバスケットボールクラブだより

ミニバス共育コラム⑩

## 人とのつながりを大切にして子育てを ～「孤育て」は危険～



2026年の活動が1月5日（月）にスタートしました。8日（木）には、学校も3学期がスタートしています。今年度の終盤の活動、とりわけ6年生の卒部に向けて最終段階のチームづくりに入っています。この時期の6年生は、発達段階からして、めざましく心身が成長します。特に心の成長については、思春期に向かうなかで、おとなに一步ずつ近づいていくこととなります。自分の意見をもつようになってきたり、表現するようになってきたり、強くなったなあとか、頼もしくなったなあとか、感じるできるようになります。

一方で、心身の性徴にともなって、精神的に不安定になったり、かたくなになったりする場合もあります。その面では、おとなのかかわりが難しくなる時期でもあります。子どもの成長・発達は、まず乳児期、とりわけ3才までのかかわりがとても大事であることは、さまざまな研究で明らかにされています。次に、ギャングエイジと言われる小学校3・4年生をどのように通過させられるか、そして、思春期を迎えた子どもへのかかわり方...が大事になります。すべての子が、それにあてはまるということではありませんが、親として、おとなとして、子どもの成長のプロセスの特徴を知っておいていいかと思います。ただ、知っているからすべてうまくいくというわけでもありません。分かっただけでも、うまくいかないこともあるし、悩むこともあります。しかし、心がまえをもっておくことで、対処の仕方を考える余裕がもてたりします。信頼できる人に相談することができるのも、一つの余裕です。そのためには、そういう人とのつながりを育んでおくことが必要です。以前は、地域社会みんなで「子育て」という感覚がありましたが、時代の変遷とともに、他者の力を借りない「孤育て」になってしまっている場合があります。が、それは危険です。親として、おとなのつながりも大切にしながら相互扶助で子育てをしていける環境を備えておくことが重要です。

今年一年、子どもがどんな成長を遂げてくれるか楽しみにしつつ、そのプロセスにかかわれることをありがたく思いながら、ともに見守り・励まし・応援していきましょう。

